

平成三十年度作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部

入学式 式辞

春風が心地よく感じるこの日に、作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部に入学された新入生の皆さん、おめでとうございます。また、本日の入学式を挙げるに当たり、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、ならびにご家族の皆様には、心より感謝申し上げます。とくに、これまでいつくしみ育ててこられたご家族の皆様のお慶びはいかばかりかと拝察いたします。

さて、新入生の皆さんは、この清原のキャンパスから、大学生として第一歩を踏み出すことになるわけです。まず何よりも、大学生としての自覚と責任をもって学び、行動して行っていただきたいと考えています。

大学という場は、言うまでもなく高等教育機関であり、皆さんが近い将来社会の扉を開いていく一歩手前において、幅広い教養と高度な専門的知識を修得し、心身共に自らの素地を耕していく準備の場です。また、社会人の皆様にとっては学び直し場でもあります。

さて、皆さんが近い将来扉を開いていくその社会や世界は、日々めまぐるしく変化してきているといえます。

国内では、今年で七年目となる東日本大震災、原発事故のあの惨禍は、いまだ復興・復旧の途上にあり、とくに原発事故の後始末にはこれから四十年以上が必要であろうといわれております。現在で

も、全国で約七万三千人が避難生活を送っています。また、現在我が国では、明治九年（一八七六年）以来続いてきた「二十歳」という成人年齢を二〇二二年四月から十八歳に引き下げる民法改正法案が閣議決定されました。

また、世界に目を転じてみると、産業や科学の分野では、人間が機械を調整していた第三次産業革命から、人間の代わりにAI（人工知能）が機械を自動制御する第四次産業革命へと急速に進んできています。さらに、生命科学や医療の分野でも、ゲノム解析や遺伝子操作に代表されるように、バイオサイエンスが大きな変革の時代を迎えようとしています。また、深刻な問題として、とくに地球温暖化などの環境問題や先進国を中心とした少子高齢化問題、さらには平和を脅かす国家間、宗教間、民族間などの対立の問題などがあります。

こうした状況の中で、これから大学生として、この作新学院大学大学および女子短期大学部で学んでいく皆さんに、次のことを期待しています。まず、本学の建学の精神である「作新民」を認識していただきたいということです。「作新民」とは、日々新たに創造していく人間であり、つまり、自ら主体的に考え、知識を行動につなげ、心豊かな人間として自己を日々変革していくことを意味します。皆さんは、この「作新民」をこれからの学びの指針として心にしっかりと留めながら大学生活を送っていただきたいと思います。

大学での学びは、高校までの既知の事実を知識として理解すると

いう学習とは異なり、むしろそれから開放され、これまで考えても  
みなかったことを思考の対象として主体的に知を探求し、新たな知  
見や方法を創造し、知のネットワークを広げていくという、いわば  
「考え、問い、探究する」ことが中心の大航海型の志向学習を目指  
していきます。これからみなさんは、大学、短大においてさまざま  
な興味・関心のある専門的な知識や技術を学ぶこととなりますが、  
ぜひ積極的に「知のネットワーク」を広げ、さらに豊かな知恵に結  
びつけ、実践して行ってください。

同時に、「作新民」という建学の精神を踏まえながら、大学時代  
にじっくりと自己理解を深めて行ってください。すなわち、これか  
らの長い人生の中で、自分はどのような存在であり、何に向かって  
進んでいくべきなのかなど、大学という場は、ある意味、自分自身  
をじっくりとみつめることができる貴重な場所であるとも言えま  
す。教員や友達とも大いに語り合いながら、他者理解を深めると共  
に、自分の可能性を広げて行ってもらいたいと思います。

大学及び短大では、また、実学を重視しております。皆さんの夢  
を叶えるために、さまざまな免許や資格を取得できるプログラムが  
数多く用意されています。

たとえば、経営学部経営学科では、今年度から資格取得支援室を  
開設し、企業と公共の経営を中核として、学内ダブルスクールをよ  
り充実させていきますので、公務員試験や簿記検定、さらに商業の  
教員免許取得などを目指していただきたいと思います。スポーツマ

ナジメント学科では、スポーツビジネスの経営に将来携わる学生諸君のためのプログラムが充実しています。県内唯一博士後期課程をもつ経営学研究科では、税理士資格をはじめとする即戦力として地域に貢献していくためのプログラムが用意されています。

一方、人間文化学部では、今年度から発達教育学科と心理コミュニケーション学科の二学科制となります。発達教育学科では、教員養成関係として、小学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状、中学校・高等学校の国語の教員一種免許状や司書教諭が取得でき、そのための支援機関として教職実践センターが大変充実しています。心理コミュニケーション学科では、特に学部及び大学院心理学研究科の課程の中で、県内唯一である臨床心理士と国家資格としての公認心理師の受験資格が取得できます。

また、県内の保育者養成の中核である短期大学部幼児教育科では、幅広い教養と幼児教育についての専門的知識や技術の修得と保育所・幼稚園・児童福祉施設での実習を通して幼稚園二種免許状と保育士の免許状が両方取得できます。

皆さんの先輩達の多くは、こうした免許・資格に果敢に挑戦してきていますので、新入生の皆さんも、こうした免許・資格取得にも大いにチャレンジしていきましょう。

ところで、大学生活は、大学における教育研究や免許資格の学修だけではなく、学外における様々な活動にも積極的に挑戦していただきたいと思います。一つは、ボランティア活動やイ

インターンシップといった社会活動です。昨年度も企業でのインターンシップや各地域でのボランティア活動を積極的に行っています。もう一つは学生が自主的に取り組む課外活動です。課外活動は、大学教育の一環として位置づけ、クラブ・サークル活動を支援し、学生時代にしかできない貴重な体験を奨励しております。スポーツ系や文化系サークルは、全員で一つの目標に向かい突き進み、喜びや感動、悔しさなどを分かち合う、友人との絆を深める重要な活動です。ぜひ、新入生の皆さんも、こうした学外での活動や課外活動に積極的に参加していただきたいと思います。

本学は、自然環境にも恵まれ、明るく自由な雰囲気の中で教育と研究が行われ、学生も活発に活動しています。ぜひ皆さんも、本学のこの自由の精神と実学の精神が溢れる雰囲気の中で、学問に勤しみ、実践知を蓄え、夢を膨らませ、サークル活動に取り組み、未来を拓いていく人間として成長していくことを教職員一同心から大いに期待し、式辞と致します。

平成三十年四月五日

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部

学長 渡邊 弘